

学習指導実践研究協力校事業に係る研究授業を行いました

10月23日(水)に、文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官の市毛祐子先生と茨城県教育庁学校教育部高校教育課指導主事の綿引志雅子先生をお迎えし、文部科学省学習指導実践協力校事業に係る研究授業を行いました。対象となったのは人間文化科2学年の専門科目「子どもの発達と保育」の授業で、授業担当の下村加緒里教諭による食物アレルギーについての指導のあと、生徒たちは発達段階に応じた幼児食のレシピについてグループで調べて、まとめ、発表しました。調べにはタブレットPCが活用されました。小麦粉の代わりに米粉を使ったり、カルシウムを補うためにモロヘイヤを用いたりするなど、食物アレルギーについて配慮したレシピを発表し、それを聞いた生徒たちもよかった点や改善点を発表者に率直に伝えることができました。授業の後、市毛教科調査官と綿引指導主事から丁寧なご指導をいただきました。

